



デフパペットシアター ひとみこえス

〒211-0035 川崎市中原区井田 3-10-31
公益財団法人 現代人形劇センター内
TEL: 044-777-2228 FAX: 044-777-3570
e-mail: deaf@puppet.or.jp
URL: http://deaf.puppet.or.jp/
Twitter DEAF_PUPPET
Facebook 「デフ・パペットシアター・ひとみ」

「河の童」公演、「高齢ろう者×アートPJ」など続々

近況、あれやこれや

公演

◆7月16～23日 北関東3県で「河の童」を上演。

◆8月2～5日 大分県豊後大野市・日田市、愛媛県砥部町にて「河の童」を上演。

◆8月15日 東京都荒川区にて「河の童」を上演。

その他

◆滋賀県立聾話学校、徳島聴覚特別支援学校、横浜市立ろう特別支援学校でワークショップ(○△□のWS)のほ「らうた」他)を実施。

◆8月4日 大分県臼杵市にて「紙人形のWS」を実施。

◆8月22～23日 愛知県春日井市にて「高齢ろう者×アートプロジェクト22」WSを実施。

◆都内ろう学校3校およびろう表現者の受講者を対象に「乙女文案のWS」を実施。(ひとみ座乙女文案との共同企画)



写真:「河の童」8月九州・四国ツアーより

「河の童」客演 栗境さんから

「河の童」、異界に股かけて

私は2年前からワークショップ、公演などでデフパペとの関わりが深まった「縁で、「河の童」の出演依頼を引き受けました。

私は舞踏を始めてから25年目になります。その間に様々な舞台や映画の出演にも参加し活動の幅を広げています。挑戦してみても、どこまでできるかを知り得ようという自己分析的なことに因るところが「この度の出演を引き受けた所以」です。

人形遣いは生の肉體性がないモノに生命を吹き込ませながら操るとというのが、私の印象です。私の舞踏では、細かいことは割愛するとして、自分の体が誰か2、3人に操られながら踊ったり、自分の頭のてっぺんから長く伸びた糸を背後にいる巨人に掻き摘まれながら歩かされたりするなど、豊富な想像の継続と集中力が要するようなことがあります。そういった「操られる」ことから「操る」側に立つ意識についての新発見を楽しんでいます。

私にとって最も難しいことは、「置き人形」という、関節や可動部分がなく口ケシのように床に置いたり、ひとかたまりを持つように動かしたりする人形との関わり方です。うまく遣わないと、言葉通り「でくのぼう」に見えてしまいます。また、舞台上でその人形を床に置き手を離れた途端に自分の肉體が強烈に前面に出てしまいます。そういうことに緊張感があり、いかに立ち振る舞うかを探究しています。

そのようにして、今回の公演で色々と学びつつあります。人形劇に関する機会に恵まれたことにとっても感謝しております。そして人間と妖怪の間の異界を股にかけ、人間の、特に大人の、傲慢さと弱さ、妖怪の生命感をいかにして観客に伝えるか、さらに磨きをかけていきたいと思っています。



ろうの舞踏家。自身で結成した『濃淡』作品他、小野寺修二作品等に参加。
アニメス・トゥルブレ監督映画『わたしの名前は...』出演。映画『LISTEN リッスン』牧原依里と共同監督。

「河の童」砥部町公演実行委員会 樋口典子さんから

愛媛公演までの道のりは、ちよつぷりでごぼご道でした。昨年は延期。そして、今年「そはと誓った4月。関心を持ってくださる方はたくさんいましたが、チケットは思うように売れませんでした。公演まであと一か月となったとき、「これはやばい！」と緊急賛助を募り、お礼にチケットをお渡しする」とにしました。ケーブルテレビでCMも制作・放送していただきました。

さあ、いよいよ当日。パンフレットを準備し、スタッフはジャケットを装着。ステージには河の童の世界が完成。後はお客さんを待つばかり…。

開場の5時30分…。なんと、ロビーには長い行列ができていました。家族と、友人と、夫婦で、お一人で。「久々の外出よ」と楽しみにしてた笑顔があふれます。赤ちゃんから高齢の方まで、障がいのある方もない方も、40人以上が集まり、熱気の中で静かに舞台が始まりました。みんな見入っています。

80分の公演はあっという間に終わりました。デフの皆さんがパズルのように見事に道具を収納していく様に感心しているうち、私たちにとっても、長い一日が終わりました。

メンバーの一人は、「実行委員会の活動は、ぼくにとつて新たな人と出会い、繋がりをもちたかけがえのない時間だった！」と言いました。私たちは、知恵を出し合い、自分の得意な分野を生かして、できることをできるときにして、それぞれが運営を支えました。だから、笑って活動ができました。「河の童」は、「共生」は決して難しいことではないということを教えてくださいました。

また、ぜひえひめに来てください。デフ・パペの応援団をもっと増やして待っています。

役者のコラム

3ヶ月に一度の「ん」には

足立沙樹

思い出のあとさき

先日、春日井の聴覚・ろう重複センター桃の皆さんを訪ねてきました。昨年度より始動した「ろう高齢者WS」に今年も引き続き参加して下さっている皆さんですが、連日のうだる暑さにも負けず、益々エネルギーな様子で、むしろそのお元気に圧倒されるほど…。

今回の訪問の目玉は「〇〇にまつわる思い出のエピソード」をテーマに、仕事・学校・家族・恋愛の4グループにわかれ、グループでおしゃべりしながら各々のエピソードを共有してもらうこと。また、エピソードの中の一場面を絵に描いたり、文字におこしたりしてもらうこと。そしてWSの最後には描き上がった作品に加え、エピソードを自ら語って発表してもらうことでした。一人ひとりの、その人だけの特別な思い出に触れていくうちに、私も自分自身の思い出のかけらを取り戻していく様でした。と云うことで、折角ですから、私の思い出も少しお話ししたく！

子ども時分、夏休みは決まって大分は中津の祖父母宅で過ごしました。「小高い山の上にポンと建つ、巨大なアシダカグモ(複数)と共生する家」、「昆虫とツチガエルと名も知らぬ植物とが溢れる庭」、「庭の片隅の温室で立派に育ちすぎたサボテンたち」、「山のまわりにくるりと広がる青い田んぼと、風にサヤサヤとそよぎ輝くさま」、「家の裏手の沼に群生するたぐさんのガマ、穂先にとまる赤トンボ」、「読破するまで川崎には帰るまいと本気で思った、本棚いっぱいの手塚治虫名作漫画の数々と松本零士の銀河鉄道999」

——火野正平の某・自転車で日本縦断の旅番組風について、それらはすべて、私の忘れられない「この風景」なのです。それらの思い出の情景は、残念ながら今ではもうほ

とんどが無くなってしまいました。しかしながら、今でもはっきりと目に浮かぶその情景は、いつか、きつと絵に描けそうな気がします。



池内剛志

木の話

制作出張や公演の旅に出ると、山の風景が頭に染みつき、移動に使う鉄道や高速道路が山中を走っていることが多いから。日本は山だらけです。車窓から山の風景を眺めていると、面白いものがあるいろいろあります。発電用の風車や採石場、メガソーラー、ポツンと一軒家。それにしても、木、木、木。山には木がたくさんです。

木は日本だけで200億本もあるそうです。絨毯のように山を覆っています。人類がどれだけ山林を切り開いても、彼らのパワーにはとても適わない気がしてきます。実際はそうでもないようですが…。

いつだったか、落葉して裸になった木の枝ぶりが、かつて生物学の本で見た動物の血管系にそっくりに見えて驚いたことがあります。木の幹や枝も、動物の循環器も、どちらも水や栄養を運びとどけるといふ点で役割が似ていますし、何らかの共通した原理に則っているのでしょうか。そうだとしたら面白いですね。そうじゃなくても面白いです。自然はいつもときめきを与えてくれます。

あんまり血管だなんだと言うとグロテスクなイメージがきたてられて山や木が恐ろしくなってしまうのですが、そういうイメージを形にした人形劇もまた面白いかもしれせん。

おしらせ掲示板

ご支援のお願い

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、デフ・パペットシアター・ひとみの上演の多くが延期または中止となり、また、依然として先行きの見えない状況が続いています。

今後の継続的な劇団活動のため、みなさまのご支援を賜りたく存じます。ご支援方法についての詳細は、デフ・パペットの企画運営を行う（公財）現代人形劇センターのホームページをご参照ください。

今後の公演・ワークショップ情報

おもな公演など

「河の童」

- ・11月12日 浜松市（静岡県）
- ・12月6～8日 茅野市（長野県）
- ・2023年1月30日 港区（東京都）★
- ・2023年3月5日 港区（東京都）

「一寸法師」

- ・9月18日 仙台市（宮城県）
- ・11月3日 臼杵市（大分県）
- ・11月4日 佐伯市（大分県）
- ・11月6日 高松市（香川県）
- ・2023年1月11日 葛飾区（東京都）★
- ・2023年2月23日 荒川区（東京都）

「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール♪」 （文化庁 文化芸術による子供育成推進事業[巡回事業]）

- ・10月11日 鷹栖町（北海道）★
- ・10月13日 札幌市（北海道）★
- ・10月17日 潟上市（秋田県）★
- ・10月18日 北秋田市（秋田県）★
- ・10月21日 三種町（秋田県）★
- ・10月24日 大崎市（宮城県）★
- ・10月25日 羽後町（秋田県）★
- ・10月26日 登米市（宮城県）★
- ・10月28日 大崎市（宮城県）★

「百物語」

- ・12月24～25日 富士見市（埼玉県）

★は学校公演です。

「百物語」再演情報

2022年12月24・25日

富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ マルチホール

構成・演出：白神ももこ(モモンガ・コンプレックス)

原作：杉浦日向子『百物語』(新潮文庫刊)

3月に上演し好評を博した「百物語」。

クリスマスの再演が決定しました。

チケット発売：11月12日(金)

「デフ・パペットシアター・ひとみ」 →

Youtubeチャンネルにて期間限定で →

本編映像を一部公開しています。 →



◆役者募集中！◆

【仕事の概要】

全国での人形劇の公演・ワークショップなど

【条件等】

- ・ろう者、聴者は問いません
- ・手話でお話をするのが好きな方
もしくは手話に興味のある方
- ・年齢・入団日は応相談

詳しくはデフ・パペのHPにて！

メール配信のご案内

メールでのデフニュース・その他公演情報の受信をご希望の方は、お手数ですが

- ①アドレス deaf_hp@puppet.or.jp までメール
- ②ホームページのお問い合わせフォーム

のいずれかの方法にて

- ・氏名
- ・ご住所
- ・デフニュースメール配信希望の旨

を本文にご記載のうえ、お知らせください。

★デフパペ友の会★

デフ・パペットシアター・ひとみでは
【友の会】の会員を募集しています。

- ・年会費
- 個人会員 1500円
- ペア会員 2500円

- ・特典
- デフパペ公演割引
- グッズお買いものチケット
- デフパペニュースお届け
- オリジナルお誕生日カード

